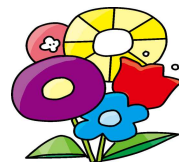




蔵王の空に夢かける - 自立 創造 友愛 -



第2号
(通算6号)
令和8年5月20日発行

新年度がスタートして1ヶ月が経ちました。校舎から望む青麻山も若葉に包まれ、瑞々しい初夏の到来を感じられるようになりました。学校では学習活動や学校行事も本格的に実施され、多くの生徒は忙しくも充実した高校生活を送っているところです。今号では、4月中旬からゴールデンウィーク明け(5月上旬)にかけて行われた主な活動を紹介します。

初夏の蔵王を満喫 - ジオ・ウォークラリー -

5月7日(木)に「ジオ・ウォークラリー」を実施しました。当日は天気にも恵まれ、青空のもと新緑の眩しい町内を遠刈田温泉街まで歩きました。1・2年生は認定ガイドの皆さんの案内で、蔵王町ふるさと文化会館(ございんホール)を出発し、松川沿いに広がる梨畑と堂々とそびえる青麻山の風景を見ながら、遠刈田温泉街に向かいました。道中の弁天大橋では、松川の水質や融雪型火山泥流に備えた河川改修工事などについて学びました。また、疣岩円形分水工は、松川の水質が上流で合流する濁川(酸性)の影響により、農業などに適さないため、上流の澄川から取水した水(遠刈田発電所で利用)を、下流域に送り出すための歴史のある土木遺産であることを知りました。その後、温泉街までの緩やかな長いのぼり道を歩き通し、最後はゴールの蔵王刈田嶺神社(里宮)で神社の縁起や遠刈田温泉街の歴史、山岳信仰について学びました。ゴール後は、遠刈田温泉街で食事をとったり、散歩したりするなどして疲れを癒やしました。

今後は、「ジオ・フィールドワーク(5月22日予定)」に取り組み、10月に実施予定のジオ・ツアーの実践に向けて、プランを練り上げていきます。また、7月には予定として「プレツアー」を実施します。本年度は1・2年生がガイドを務めることとなりますが、先輩方からのアドバイスを参考に、蔵王ジオパークの魅力を存分に発信できるよう、学習を積み重ねていくことを期待します。

疣岩円形分水工では、サイフォンの原理(演示)を取り上げ、取水のしくみをわかりやすく教えていただきました。

松川の対岸から引かれた澄川の水は、絶えることなく、力強く地下から湧き出ていました。水は蔵王町周辺の田畑に流れ農業用水として利用されます。

弁天大橋では、火山噴火に伴う融雪型火山泥流を想定した河川改修について教えていただきました。また、松川の水は、上流で澄川と濁川が合流したものであることや、濁川の影響により、水質が飲み水や農作物の栽培に適さないことを知りました。

ガイドさんの説明を一生懸命メモしました。体験を通して感じたこと、考えたことを文字に表現することで、生きた知識が身に付きます。

残雪の蔵王連峰を遙かに見ながら、長いのぼり道を歩きました。左手の雪山は、宮城県の最高峰である屏風岳、右手の奥は蔵王連峰の主役、刈田岳・熊野岳です。

社殿に正対した遙か先に、蔵王連峰刈田岳山頂の奥宮があります。創建は平安時代、江戸時代に伊達政宗が社殿を改築、三対の狛犬、山岳信仰と遠刈田温泉の発展…、いろいろ調べてみると、おもしろいかもしれません。



地域の伝統をつなぐ

例年、ゴールデンウィーク終盤(こどもの日)に執り行われる「蔵王刈田嶺神社春季例祭」に蔵王高校3年生・本校2年生の有志が参加しました。参加者は白装束を身に纏い、町内十数箇所の事業所・集会所等の神輿巡幸に同行しました。巡幸後は、遠刈田温泉街を山車を牽いて練り歩きました。祭りの華やかさや厳かな雰囲気を感じ、伝統文化の継承について考えることができたようです。

蔵王刈田嶺神社春季例祭



白装束に着替えたことで、自然と神聖な気持ちになり、心が整いました。



地域の方や観光客の皆さんに温かく見守られる中、かけ声をあげて重い山車を牽きました。

心をつなぐ、はじめの一步

ソーシャルスキルトレーニング講座

1年生では、4月24日(金)に「ソーシャルスキルトレーニング講座(SST講座)」を実施しました。本講座では、NPO法人ケアブレンドの方をファシリテーターとしてお招きし、ペアワークなどを通して、人との付き合い方やよりよい人間関係づくりに必要なスキル(質問の「掘り下げ」と「分岐」、ポジティブ・フィードバック(承認と共感の表情・姿勢)など)を学びました。今後の学校生活では先輩達との交流の他、校外の方々と接する機会が多くなります。また、本講座で学んだ内容は、社会生活でも活かせるものです。今後もコミュニケーションに関する各種講座を実施しますが、積み重ねを大切に、温かて円満な人間関係を築く力を身に付けていきましょう。



様々なワークを通して、ふだんの何気ない言葉がもつ力、対話を通じた心の揺らぎなど、改めて立ち止まり考えることができました。

自他の生命と生活を守る

携帯・スマホ安全講話、交通安全講話



いずれの内容も、安全・安心な生活に関する身近な話題であり、自分事として考えることができました。

4月24日(金)に全校生徒を対象に「携帯・スマホ安全講話」を実施しました。本講話では、白石警察署生活安全課の方よりSNSを介した若年層の問題、事故・トラブルのリスク等を踏まえて、スマートフォンやSNSの安全な利用について教えていただきました。また、インターネットに潜む闇バイトの危険性など、若者が陥りやすい犯罪行為の入口についても具体的にわかりやすく説明いただき、SNSの特性を踏まえた利用上の注意点、ルールやマナーについて、意見交換する姿も見られました。

また、5月8日(金)には、白石警察署交通課の方に「交通安全講話」を実施いただきました。本学習では、この春に改正された道路交通法(自転車運転違反行為に対する反則金制度の導入)について、違反行為に起因する自転車事故の発生状況、増加傾向にある歩行者に対する自転車事故などの豊富なデータをもとに詳しく説明いただきました。講話を通して、一般的な交通ルールの他、自転車安全利用五則(車道の左側走行、交差点一時停止・信号遵守、夜間のライト点灯、飲酒運転禁止、ヘルメット着用)についても改めて確認することができたようです。



学校ホームページには右のQRコードからアクセスできます。



学校ホームページの内容は随時更新しております。また、週間予定については一斉メールで毎週末に連絡しておりますので御確認ください。

宮城県白石高等学校蔵王キャンパス

〒989-0851 宮城県刈田郡蔵王町大字曲竹字濁川添赤岩1-7
TEL 0224-33-2005 FAX 0224-33-2034
ホームページURL <https://zao-ca.myswan.ed.jp/>

週間予定は、週末に配信される一斉メールの内容を確認してください。